

議事録

会議名：第17回中四国学生剣道連盟理事会

- 日時：2004年9月11日PM1時30分より
- 場所：岡山大学・大学会館・1Fホール
- 構成員：34名
- 参加者：産賀敏彦、湯村正仁、木谷直俊、渡辺道德、橋本健蔵、小倉 肇、三浦利雅、森 正典、榊 康守、木原資裕、草間益良夫、石井博貞、境 英俊、竹内善一、香川直己、谷口直和、池江大輔、長崎 誠、宮広 匠、緒方香織、西野剣樹、伊東惣一郎、積山貴仁、竹澤竜平（以下委任状により出席と見做す）高澤貞三、山神眞一、佐々木 史、森山慎一、三津井 厚、前坂春奈、倉谷朋宏以上31名、欠席者：大元輝民、宮川拓将、白川哲生以上3名
オブザーバーとして、腰山静雄、村井慎治

上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。慣例に倣い会長の産賀敏彦を議長として議事が進められた。

●記録

氏名：緒方香織

E-mail: information@tyushi.com (不明点はこちらへ)

Summary :

- 議題1：第16回理事会議事録確認
- 議題2：全日学連理事会・常任理事会報告
- 議題3：幹事会報告
- 議題4：中四国学生剣道連盟50周年事業
(女子優勝大会優勝旗作成&中国vs四国南北対抗剣道試合(仮称)について)
- 議題5：次回リーゼミ企画案&平成17年度大会予定
- 議題6：来年度の優勝大会について
(会場を川崎医療福祉大学にて行うことに伴って試合形式等の検討)
- 議題7：剣友会(中四学連剣友剣道大会、全日本学連剣友会理事会)の報告
- 議題8：その他

1. 第16回理事会議事録確認

グランドルールの見直しについての次の部分で再度確認して、第16回理事会議事録を異議なく承認した。

- (1) 不正竹刀を使用した選手があった場合、団体戦においては補欠の出場（編成区分への補充可）を認める。
- (2) 相手の力が作用しなくて防具が外れた場合、反則としない。

2. 全日学連理事会・常任理事会報告

報告者：谷口直和

報告者：草間益良夫

報告者：木原資裕

- (1) 全日学連の財務委員長より各大会諸費用の払い込みに関してルールを遵守すること。本連盟では遵守しており、今後も学生役員の方で遵守していく。
- (2) 事業委員会より全国大会のコート削減等に伴う参加大学や参加人数等の検討を行っている。中四は今のところ変更は無い見込み。
- (3) 審判委員会より全国大会の前に中四は関西審判員講習会に参加して頂くこととなった。今後は前日ではなく前もっての講習会に参加する。

10月16日大阪市立中央体育館で行われる講習会に男女優勝大会に派遣の2名審判員の参加して頂く。平成17年度の大会に審判して頂く先輩は平成17年1月26日に関西地区の講習会に参加して頂くことになる。

費用負担については1名分については全日学連から、1名分は中四国学連負担。来年度以降は今後検討する。全日本大会での審判員については派遣人数を2、2、2で全日学連と調整する。

本部講習会ではなく、地方での講習会を実現して、幅広い審判員技量の底上げを図って欲しい旨提案がなされた。

- (4) 全日本学生剣道連盟50周年記念誌を配布（平成16年9月11日配布）。
- (5) 國士舘大学の関東学連に再加盟が認められた。
- (6) 剣道有功賞（全剣連）への推薦者については5月の理事会で全日本担当理事に提出する。

3. 幹事会報告

報告者：谷口直和

- (1) 平成17年度以降の優勝大会について
- (2) 創立50周年事業について
- (3) 優勝大会の抽選会 以上が平成16年8月8日話し合われた詳細は後述

4. 中四国学生剣道連盟50周年事業

報告者：石井博貞

報告者：谷口直和

- (1) 女子優勝大会に優勝旗を製作する件について検討した。大会担当に一任した。
20万円程度（男子の優勝旗とのバランスを考慮して）のものを製作する。
中四学連剣友会から7万円程度の補助が提案され、補助の増額をお願いすることにした。
- (2) 中国地区vs四国地区選抜対抗剣道試合（仮称）を幹事会で企画した。
先の幹事会において、平成16年12月12日新人戦大会時に、四国地区を大城戸先輩、中国地区を草間先輩を監督として、男子学生7名、女子学生3名の中国地区対四国地区の対試合とし、学生の試合終了後、監督同士の拝見試合をお願いしたい旨報告がなされた。
中四国大学の出身者で20代、30代、40代の先輩の代表者にも出場して貰うように企画を変更する。

5. 次回リーゼミ企画案&平成17年度大会予定

報告者：榊 康守

報告者：香川直己

- (1) 日時：平成17年3月12日(土)～3月14日(月)に開催。
場所：福山みろくの里 内容については、現在検討中。
- (2) 前回のリーゼミ報告書は明日配布予定。
- (3) 選手権大会 平成17年5月15日or22日 高松市総合体育館
優勝大会 平成17年9月11日 川崎学園総合体育館・川崎医療福祉大学体育館
(後日、平成17年8月28日に変更された)
平成18年度以降は岡山市立総合文化体育館を予定しています。
新人戦 平成17年12月11日 広島県立総合体育館・武道場

6. 来年度の優勝大会について

報告者：石井博貞

- (1) 現在の8試合場・予選リーグ・決勝トーナメント方式で行われている。これを全部トーナメント方式を採用することについて幹事会で議論したが、大多数が現行方式で行いたい旨、報告があった。よって、前述の2会場に置いて6試合場と2試合場の8コートで、1日開催の方向で検討する。

7. 剣友会（中四学連剣友剣道大会、全日本学連剣友会理事会）の報告

報告者：村井慎治

- (1) 全日本学連剣友会理事会の会計報告があり、今後公認会計士の先輩がボランティアで監査をして頂くことになった。中四国の会員数が全国3番目になり、分担金が6万から9万円になった。
- (2) 京都大会で学連剣友会の稽古会を実施。
- (3) 第6回中四学連剣友剣道大会の資料配布

- (4) 第2回全日本学連剣友剣道大会は平成17年3月27日大阪中央体育館
熟年の部には是非多く参加して頂きたい。

8. その他

- (1) 今回の優勝大会から山陽新聞社が共催に加わることになり、大森杯のレプリカを補助して頂くことになった。
- (2) 今回の優勝大会審判役員の島根・下諸先輩が公務のため欠席となったので草間先輩に審判主任、また、山口・大元先輩が欠席となったため榊先輩に審判主任をして頂くこととなった。
- (3) 次の理事に各々担当理事になって頂くことが承認された。
香川直己：教育研修担当、竹内善一：記録保存担当

以上の議事を終え、本会は午後14時55分、議長が閉会を宣言して散会した。

上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成16年9月11日

中四国学生剣道連盟 第17回理事会

署名人 榊 康 守

署名人 西 野 剣 樹



次回 MTG

日 時：2004年12月11日

場 所：広島県立総合体育館・地下1F・中会議室

以上